

社会資本総合整備計画 事後評価書

計画の名称	コンパクト 便利ですてきな まちづくり											
計画の期間	平成28年度 ～ 令和3年度 (6年間)											
交付対象	桑名市											
計画の目的	鉄道によって分断された桑名駅周辺において、桑名駅自由通路整備及び東西駅前広場整備と併せて各桑名駅を橋上駅舎化し、桑名駅の交通結節点としての機能強化を図り、利便性を確保した快適な暮らしを育み定住人口の確保を図る。											
全体事業費(百万円)	合計(A+B+C+D)	5355百万円	A	5348百万円	B	0百万円	C	7百万円	D	0百万円	効果促進事業費の割合C/(A+B+C+D)	0.13 %

番号	計画の成果目標(定量的指標)			
	定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値		
		当初現況値 H28当初	中間目標値	最終目標値 R3末
1	桑名駅西地区都市再生土地区画整理事業区域内の宅地整備率を10%から25%に(15%)増加 桑名駅西地区都市再生区画整理事業区域内における整備済み宅地率(%)	10%		25%
2	桑名駅東駅前広場の利用満足度を20%から23.7%に(3.7%)増加 桑名駅東駅前広場の利用満足度(%)	20%		24%
3	桑名駅の1日当り乗降者数を38,854人(H27実績)から40,000人(R3)に3%増加 桑名駅乗降客数(人/日)の実績数値	38,854人/日		40,000人/日

備考等	個別施設計画を含む	—	国土強靱化を含む	—	定住自立圏を含む	—	連携中枢都市圏を含む	—	流域水循環計画を含む	—	地域再生計画を含む	—
-----	-----------	---	----------	---	----------	---	------------	---	------------	---	-----------	---

案件番号:

A 基幹事業																				
基幹事業（大）	番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	種別1	種別2	要素となる事業名 （事業個所）	事業内容 （延長・面積等）	市町村名／ 港湾・地区名	事業期間						全体事業費 （百万円）	費用 便益比	個別施設計画 策定状況
												H28	H29	H30	R01	R02	R03			
		一体的に実施することにより期待される効果																		
		備考																		
市街地整備事業	A13-001	市街地	一般	桑名市	直接	桑名市	—	—	桑名駅西地区都市再生区画 整理事業	土地区画整理事業 約26.6ha	桑名市	■	■	■	■	■	■	1,378		—
都市再生整備計画 事業	A10-002	都市再生	一般	桑名市	直接	桑名市	—	—	桑名駅周辺地区都市再生整 備計画事業	地域生活基盤施設等 約9.7ha	桑名市	■	■	■	■			1,007		—
市街地整備事業	A13-003	都市交通	一般	桑名市	間接	東海旅客鉄 道株式会社 近畿日本鉄 道株式会社	—	—	都市・地域公共交通戦略推 進事業（桑名駅周辺地区）	JR桑名駅橋上駅舎整備、近鉄桑 名駅橋上駅舎整備（養老鉄道含 む）	桑名市				■	■	■	2,962	1.08	—
											小計							5,348		
											合計							5,348		

案件番号：

C 効果促進事業																						
基幹事業（大）	番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	種別1	種別2	要素となる事業名 （事業個所）	事業内容 （延長・面積等）	市町村名/ 港湾・地区名	事業期間						全体事業費 （百万円）	費用 便益比	個別施設計画 策定状況		
												H28	H29	H30	R01	R02	R03					
		一体的に実施することにより期待される効果																				
		備考																				
都市再生整備計画 事業	C10-001	都市再生	一般	桑名市	直接	桑名市	—	—	桑名駅周辺まちづくり検討 業務	まちづくり検討	桑名市	■	■					7	—			
		基幹事業等を社会情勢の変化等に対応するために、桑名駅周辺地区まちづくり検討会議を開催し、必要があれば事業内容の見直しの検討を行う。																				
												小計							7			
											合計							7				

案件番号：

事後評価

○事後評価の実施体制、実施時期

事後評価の実施体制

事後評価の実施時期

令和4年3月

都市整備部駅周辺整備課で達成状況を検証し、評価を行うとともに、事後評価書（案）を評価委員会にて意見を求めた。

公表の方法

桑名市ホームページに公表

○事業効果の発現状況

定量的指標に関連する
交付対象事業の効果の発現状況

桑名駅自由通路整備及び東駅前広場の部分的な整備により、桑名駅の交通結節点としての機能強化が図られ利便性が向上したことにより、今後の駅周辺整備に対する期待値も含めて利用満足度が高くなり、市民満足度の向上に貢献した。
また、集団移転方式の導入により、効率的に整備が進めることができ、駅西地区の土地区画整理事業の宅地整備率を伸ばすことができた。

定量的指標以外の交付対象事業の
効果の発現状況（必要に応じて記述）

—

○特記事項（今後の方針等）

今後も「桑名駅周辺地区整備構想」の整備方針に基づき、桑名駅東西の駅前広場の質の高い整備を行い、桑名駅東西の連携強化・交通結節機能の強化を図り、にぎわいと活力ある拠点として整備を進めるとともに、桑名駅西側の密集市街地の住環境改善により持続可能なコンパクトシティの実現のための住みよいまちづくりを行い、定住人口の確保を図る。

案件番号：

○目標値の達成状況			
番号	指標（略称）		
	目標値／実績値	目標値と実績値に差が出た要因	
1	桑名駅西地区都市再生区画整理事業区域内の整備済み宅地率		
	最終目標値	25%	これまでの玉突き移転方式だけでなく、まとまった範囲の建物を一斉に移転する集団移転方式（中断移転方式）の導入により、建物移転と道路、上下水道、ガス等の整備を効率よく進めることができたため。
	最終実績値	34%	
2	桑名駅東駅前広場の利用満足度		
	最終目標値	24%	桑名駅東広場施設整備だけでなく、桑名駅自由通路整備、橋上駅舎化整備との相乗効果により、市民の駅周辺整備への期待感も高まり、目標値を上回ったと考えられる。
	最終実績値	35%	
3	桑名駅の1日当りの乗降者数		
	最終目標値	40,000人/日	新型コロナウイルスの影響により、鉄道を含む公共交通機関の乗降客数が大幅に減少しているため。
	最終実績値	28,908人/日	

案件番号：